

作成日: 2019年1月8日

改定日: 2022年4月1日

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名:	ハト除けグリース
会社名:	株式会社ルック
住所:	大阪府大東市諸福 8-2-14
担当部署:	製造部 品質管理課
電話番号:	072-875-1515
FAX 番号:	072-875-7700
緊急電話番号:	072-875-1515

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:

可燃性固体類	区分外
--------	-----

健康に対する有害性:

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(気体):	分類対象外
急性毒性(蒸気):	分類できない
急性毒性(粉じん及びミスト):	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	分類できない
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	分類できない
吸引性呼吸器有害性:	分類できない

環境に対する有害性:

水生環境有害性(急性):	分類できない
水生環境有害性(長期間):	分類できない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHS ラベル要素:

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書き

[安全対策]	なし
[応急措置]	なし
[保管]	なし
[廃棄]	内容物／容器を国際・国・各都道府県・市町村の規則に従って廃棄すること。

※GHS 分類による上記注意書きに記載がない場合でも、以降の情報を参考に
安全対策／応急措置／保管／廃棄に関し十分な配慮を行ってください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
組成及び成分情報

成分名	含有量%	官報公示整理番号	CAS No.
植物油	45～55%	—	8001-79-4
カルシウム石鹼グリース(油分:約 85%)	45～55%	—	
ハツカ油	1%未満		

労安法通知対象物： 非該当
毒劇物： 非該当
PRTR法： 非該当

4. 応急処置

吸引した場合： 新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
水と石鹼で付着した部分を洗う。

眼に入った場合： 清浄な水で最低 15 分以上洗眼したあと医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。
また、口の中が汚染されている場合には水で十分洗う。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状： 飲み込むと、下痢・嘔吐する可能性がある。
目に入ると炎症を起こす恐れがある。
皮膚に触れると炎症を起こす恐れがある。
ミストを吸引すると気分が悪くなる可能性がある。

応急措置をする者の保護： 現在のところ、有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤： 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火剤を用いる。
大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

使ってはならない消火剤： 棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性： 現在のところ、有益な情報なし。

特有の消火方法： 火元への燃焼減を断ち、周囲の設備などに散水して冷却する。
火災発生現場の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。
皮膚への接触が想定される場合には、不浸透性の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 作業の際には、必ず保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

環境に対する注意事項： 河川、下水道等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
海上の場合、薬剤を用いる場合には、国土交通省・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

回収、中和並びに封じ込め及び浄化方法： 周辺の着火源を速やかに取り除く。
少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させ回収し、その後を完全にウエスで拭き取る。
大量の場合は、漏油した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の出入りを禁止する。

漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器等に回収する。

海上の場合、オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を用いる場合には、国土交通省・環境省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

二次災害の防止策： 漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

適切な技術対策： 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。細管を用いて口で吸い上げてはならない。飲まない。皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。ミストが発生する場合、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。容器は必ず密栓する。

注意事項： 石油製品から発生した蒸気は空気より重いので滞留しやすい。そのため、換気及び火気等への注意が必要である。

安全取扱注意事項： 常温で取り扱うものとし、その際、水分、夾雑物の混入に注意する。ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよい場所に保管する。ゴミ、水分などの混入防止のために使用後は密栓して保管する。施錠して保管することが望ましい。

熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。

適切な技術対策： 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。

注意事項： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料： 空容器に圧力をかけない。圧力をかけると破裂・漏洩の可能性がある。容器は、溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 常温で取り扱い場合は不要。

管理濃度： 設定されていない(作業環境評価基準：平成 21 年厚生労働省告示第 194/195 号)

許容濃度： 情報なし。

保護具： (着用が望ましい)

呼吸用保護具： 特になし。

手の保護具： 長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性手袋

眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 長期にわたり取り扱う場合又は濡れる場合には耐油性の長袖作業着

適切な衛生対策： 濡れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

8. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状： グリース状
色： 淡黄褐色半透明
臭い： 特異臭
密度： 約0.89(15℃)

物理的状態が変化する特定の温度

滴点	約110°C以上
沸点	データなし
分解温度	データなし
引火点	292°C(C.O.C)基油
発火点	449°C 基油
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
溶解性	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
その他のデータ	
混和ちよう度(25°C)	代表値 280

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の状態では安定。
反応性:	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件:	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。 又、100°C以上に強熱しない。
避けるべき材料:	現在のところ、有用な情報なし。
危険有害な分解生成物:	燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。
その他:	現在のところ、有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	ラット LD50 5,000mg/kg 以上(基油)
急性毒性(経皮):	データなし
急性毒性(吸入):	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	データなし
呼吸器感受性:	データなし
皮膚感受性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
吸引性呼吸器有害性:	40°Cの動粘性率が 20.5mm ² /s 以下の炭化水素に該当しないため分類されない。

12. 環境影響情報

水生環境毒性	水にはほとんど溶解しないため、生物への汚損を生じる可能性がある。
急性毒性:	データなし
慢性毒性:	データなし
残留性・分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	オゾン層への有害性はないと思われる。

13. 廃棄上の注意

残渣廃棄物:

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄に於いては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

投棄禁止。

埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃え殻については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

燃焼する場合は、安全な場所、かつ、燃焼又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類:

国連の定義による危険物に該当しない。

国連番号:

非該当

国内規制

陸上輸送:

消防法 非危険物

海上輸送:

船舶安全法 非危険物

航空輸送:

航空法 非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件:

容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

非該当

消防法:

非該当

毒物劇物取締法:

非該当

水質汚染防止法:

非該当

海洋汚染防止法:

有害液体物質(Y 類物質):ひまし油

下水道法:

非該当

化学物質管理促進法(PRTR):

非該当

16. その他の情報

引用文献:

原料 SDS

記載内容の取扱い:

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講じる必要があることを理解した上で、使用されるようお願い致します。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。